

2020年度

事業報告書

公益財団法人 科学技術広報財団

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下、財団という）は、2020年度において、前年度に引き続き、時代の変化に対応して、広範な科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進のため、科学技術に関する情報を広く一般社会に発信し科学知識を普及すること、また、科学技術広報に関わる人材の育成を行うなど、科学技術に関する幅広い広報活動を進めた。また、社会的なコンプライアンスに基づくガバナンスの透明性を認識した経営を実施した。

財団が共同事業として指定管理業務を担当している新潟県立自然科学館、神戸市立青少年科学館及びふなばし三番瀬環境学習館においては、臨時休館や、イベントの中止など前年度に引き続き、新型コロナウイルス対策が求められたが、県市によるコロナ対策支援、財団による経費節減努力等により、2020年度決算は1203万円の黒字であった。

しかしながら、新型コロナウイルス流行終息の兆しが見えないなかで、2021年度は2020年度以上の厳しい影響が予想され、事業全般にわたって一層の経費の節減、新しい事業の開拓などが求められる見通しであり、財団経営は依然として大きな課題に直面している。

2020年度に実施した事業は以下の通りである。

I. 全体運営

(1) 理事会の開催

- ・ 2020年7月9日（木） 第26回理事会
 - ① 2019年度事業報告書及び2019年度決算報告書を承認した。
 - ② 第10回評議員会の招集について承認した。
 - ③ 理事長および常務理事より職務執行状況を報告した。
- ・ 2020年7月28日（火） 第27回理事会
 - ① 森口理事を理事長に、今村理事を常務理事にそれぞれ選任し、これを承認した。
 - ② 今村常務理事を事務局長に選任し、これを承認した。
- ・ 2020年11月8日（日） 第28回理事会（書面による）
 - ① 理事長より当財団の主たる事務所の移転について提案書が提出され、これを承認した。
- ・ 2021年3月23日（火） 第29回理事会
 - ① 2021年度事業計画書及び2021年度収支予算書を承認した。
 - ② 理事長および常務理事より職務執行状況を報告した。

(2) 評議員会の開催

・2020年7月28日（火） 第10回評議員会

- ① 議事録署名人を選出した。
- ② 2019年度事業報告書及び2019年度決算報告書を承認した。
- ③ 任期満了による評議員の改選について、評議員6名の選任・1名の退任を承認した。
- ④ 任期満了による役員の改選について、理事8名の選任・2名の退任、監事2名の選任を承認した。

(3) 役員・評議員及び職員の状況

① 役員の現状（2021年3月31日現在）

役職	定数（人）	現員（人）
理事長	1人	1人
専務理事	1人	0人
常務理事	2人以内	1人
理事	5人以上12人以内	8人 (うち理事長1名、常務理事1名)
監事	3人以内	2人

② 評議員の現状（2021年3月31日現在）

定数	現員（人）
5人以上12人以内	6人

③ 職員の現状（2021年3月31日現在）

区分	職員数（人）
本部事務局	4人
新潟県立自然科学館	10人
神戸市立青少年科学館	6人
ふなばし三番瀬環境学習館	9人
計	29人

④ 役員の異動

退 任		就 任	
退任日	氏 名	就任日	氏名
2020年 7月28日	赤池 学	2020年 7月28日	齊藤 仁志

2020年 7月28日	日置 光久	2020年 7月28日	田中 正朗
----------------	-------	----------------	-------

⑤ 評議員の異動

退 任		就 任	
退任日	氏 名	就任日	氏名
2020年 7月28日	齊藤 仁志	2020年 7月28日	児玉柳太郎

(4) 広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページ及びWEBを通じた財団広報活動の活性化を図った。

II. 事業

1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

(1) 科学ポスターの企画・作成及び提供

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う在宅勤務体制のため、2020年4月6日より5月31日までポスター販売を一時休止した。

6月以降は、IT販売窓口の拡充を図るため、AmazonおよびYahooshoppingへの出店を継続し、書店、科学館及び大学生協などの販売機関に対して、最新の商品情報（パンフレット）の提供を行うとともに教材カタログに掲載するなど販売の拡大を継続した。

① 売上件数 : 2,857件

② 売上総数 : 13,134点

③ 取扱店舗数 : 科学館・博物館等ミュージアムショップ : 22店舗、
書店 : 11店舗、 大学生協 : 16店舗、 WEB : 4店舗、
教材卸 : 8店舗、 その他 : 1店舗
計62店舗 (2021年3月31日現在)

(2) 科学グッズの企画・開発及び提供

理化学研究所が製作したグッズ(周期表柄バンダナ、ニホニウムマグカップなど)を継続して販売するとともに、新商品も追加して販売した。

2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

2-1. 科学館の運営及び運営支援

- (1) 新潟県立自然科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業で期間は2020年4月から2027年3月まで7年間）として、管理運営業務及び科学教育普及事業を実施した。

2020年度来館者実績：114,145人

特記事項：県の要請を受け、2020年4月18日から5月25日まで新型コロナウイルスの影響により臨時休館した。当該期間に予定されていたワークショップ、特別展などのイベントは中止または延期となった。

また、例年夏季に開催している特別展については、多くの方の来館が見込まれることから、開催を見送った。

- (2) 神戸市立青少年科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業で期間は2018年4月から2023年3月まで5年間）として、企画業務及び科学教育普及事業を実施した。

2020年度来館者実績：111,825人

特記事項：市の要請を受け、2020年3月3日から5月31日まで新型コロナウイルスの影響により臨時休館した。6月1日から6月30日までプラネタリウムのみ部分開館し、7月2日（7月1日は休館日）から展示室も再開となった。当該期間に予定されていたワークショップなどのイベントは中止となった。また夏の特別展は感染拡大の影響を考慮し中止としたが、安全に配慮した形で夏休み中の子どもたちが楽しめるワークショップを夏休み期間中毎日実施した。またコロナ禍の中での新しい科学館の活動としてテレポーテーションアバターロボット使った遠隔からの科学館体験を実験的に実施した。その実験では兵庫こども病院の協力を得て、入院中で科学館に来ることができない子どもたちに参加してもらったが、そのことで普段来ることができない子どもたちが参加できるなど新しい側面があることが分かり、新しい可能性が感じられた。これから5Gが浸透していく中でこの活動はこれからの科学館において大きな可能性があることから2021年度は新技術振興渡辺記念会から助成金をいただき実証実験を行うこととなった。

- (3) ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館の指定管理者（公益財団法人との共同事業で期間は2017年4月から2022年3月の5年間）として、三番瀬の干潟を利用した環境学習プログラムの実施及びワークショップ等を企画実施した新たな活動として、インターネットを活用したワークショップを開催し、またコンテンツとして、SDGs解説ビデオの製作を行った。

2020年度利用者総数：26,293人

特記事項：市の要請を受け、2020年4月1日から5月31日、および同年12月26日から2021

年3月31日まで臨時休館した。休館中および2021年6月末まで、対面型のワークショップ、イベントは中止となり、また特別展も中止とした。

2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組として、子供向け番組「ケンちゃんと天の川・大冒険」、一般向けサイエンス番組「10000光年双眼鏡」を制作し上映した。

3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

コロナウイルス流行をきっかけとして全国の科学館では、IT技術を活用した新しい活動を模索する動きが出ている。当財団においても、オンラインによるワークショップの開催や、ITとロボット技術を組み合わせた科学館における新しい科学技術広報の在り方を追求する試みを行った。

以上